

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 (サウンドクリエイターコース)											
アナライズ3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	恒枝賢治			実務 経験	有	職種	ミュージシャン・ギタリスト・レコーディングエンジニア				
授業概要											
アナライズ1～2で学習した内容、さらに実際の音楽制作に直結した内容を扱う。レコーディングではマイクのセッティングや機材の取り扱い方、プレイヤーに気持ちよく演奏してもらうためのディレクションのノウハウなどを学習していく。作業効率を高めるため、オリジナルのテンプレートを利用した作業の時間短縮、2ミックスやステムミックス、演奏同期用音源の作成等がスムーズに行えるサウンドルーティングを作成していく。											
到達目標											
様々なエフェクトを駆使して既存曲レベルに近づくための方法を取得することを目指している。クオリティ向上のため、自身が作成した曲にギターやボーカルといったプレイヤーの演奏を録音する必要性もあり、外部に楽曲データを渡す際のデータの取りまとめも重要になる。前期の内容をさらに実用的に活用できるスキルを身につける。											
授業方法											
授業で使う教材を配布した後、講師の説明と実演を見てから、各自が自分のMacで作業をする。各々の作業終了後に理解度をチェックするため成果物を提出する。またヘッドホンや変換端子などは各自用意すること。											
成績評価方法											
試験70%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表10%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
ステップアップ方式の授業展開のため、欠席した場合は資料やデータを受け取り、次回までに補講することが必要になる。また、提出課題は自宅、または放課後解放などを利用して提出しなければならない。4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
ProTools101、配布プリント／PDF											
回数	授業計画										
第1回	1年次の復習。ProToolsの基本的な機能の復習と操作方法、ショートカットによる作業の短縮を行う。										
第2回	イコライザーとリミッターの仕組みを理解し、時間内にラフミックスを作成する。										
第3回	インサートエフェクトを極める①ダイナミクス系										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 (サウンドクリエイターコース)	
アナライズ3	
第4回	インサートエフェクトを極める②フィルター系
第5回	前回のセッションを元にミックスを行うためのBusルーティングを設定し、簡単にステムミックスが書き出せる手順と仕組み、またそのメリットを理解する。
第6回	インサートエフェクトを極める③リバーブ
第7回	インサートエフェクトを極める④MOD系
第8回	RoomReverbやChorus、Doubler等を利用し、モノラル音声をステレオ感あるサウンドに変化させ、空間演出を行える。
第9回	インサートエフェクトを極める⑤ディレイ
第10回	センドにオートメーションを書き、空間系エフェクトの残響感を部分的にコントロールする技術を身につける。
第11回	編集、ナッジ、およびトリミングのショートカットを覚え、素早い音声の編集作業を行う。
第12回	BeatDetective機能を使用して不揃いなリズムを整理する。各クリップ間のクロスフェード処理を行う。
第13回	別のセッションファイルからトラック設定のインポートや、音声データのインポートを行う。
第14回	前期まとめ
第15回	前期試験